

グッドイヤー、第45回 東京モーターショー2017で モビリティ社会の実現に向けたコンセプトを展示

日本グッドイヤー株式会社(代表取締役社長 金原 雄次郎)は、2017年10月25日(水)~11月5日(日)東京ビッグサイト(東京都江東区有明)にて開催される「第45回東京モーターショー2017」に出展します。

グッドイヤーは自動車を取り巻く環境の変化:都市部への人口集中によるライドシェア経済化の進展、IoTによる社会インフラ・車両の情報接続、自動運転の拡大といった潮流を踏まえ、ブーステーマを「モビリティ社会の実現に向けて」とし、グッドイヤーの持てる技術革新力を結集したコンセプトの提案、ならびに新商品を含む主力商品をご紹介します。

1. モビリティ社会の実現に向けたコンセプト提案の足跡

- 日本初公開:シェアリング経済を見据えた AI 搭載球形タイヤ Eagle Urban 360(イーグルアーバン サンロクマル)
- 日本初公開:磁気浮揚する球形タイヤ Eagle 360(イーグルサンロクマル)
- 「発電タイヤ」熱伝素子と圧電素子による BH-03(ビーエイチ・ゼロスリー)
- 「モーフィングタイヤ」路面状況をモニタリングしタイヤが自在に変形する Triple Tube(トリプル・チューブ)

2. 新商品のご紹介

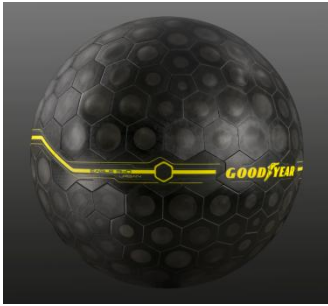
- ベクターフォーシーズンズハイブリッド、プレミアムスタッドレスタイヤ アイスナビセブンをはじめとする主力商品のご紹介の他、来春発売予定の新商品も先行紹介します。

【当社展示ブースイメージ】



【展示コンセプトタイヤ】

コンセプト公開 Eagle 360 Urban (イーグル サンロックマル アーバン) 日本初公開



コンセプト公開 Eagle 360 (イーグル サンロックマル) 日本初公開



「発電タイヤ」 BH-03(ピーエイチ・ゼロスリー)



「モーフィングタイヤ」 Triple Tube(トリプル・チューブ)



3. プレス・ブリーフィング

10月26日(木) 10:15-10:30 (東ホール6) 日本グッドイヤーブースにて実施します。

グッドイヤーについて

グッドイヤーは世界屈指の大手タイヤ会社です。従業員数は約6万5000人で世界21か国、47の拠点を展開しています。米国オハイオ州アクロンとルクセンブルグのボルマーベルグの2ヶ所に技術開発センターを有し、技術・性能の両面でタイヤ業界の標準を形づける最先端の製品とサービスを開発しています。グッドイヤーと製品の詳細情報は www.goodyear.com/corporate をご覧ください。

《日本グッドイヤー株式会社》

日本グッドイヤー株式会社は 1952 年創立。国産および輸入品のグッドイヤーブランドのタイヤを、補修用タイヤ市場で販売しています。日本グッドイヤー関連会社の日本ジャイアントタイヤ株式会社は、土木建築車両用・重機用オフロードタイヤを兵庫県たつの市の工場で生産しています。又グッドイヤーは日本において航空機用タイヤのマーケティングと販売も行っています。日本グッドイヤー株式会社とその製品について、ホームページで詳しい情報がご覧頂けます。

日本グッドイヤー株式会社ホームページ www.goodyear.co.jp/
